

清瀬市学校支援本部

令和4年度活動報告書

清瀬小学校 (p.4)	清瀬中学校 (p.14)
芝山小学校 (p.5)	第二中学校 (p.15)
第三小学校 (p.6)	第三中学校 (p.16)
第四小学校 (p.7)	第四中学校 (p.17)
第六小学校 (p.8)	第五中学校 (p.18)
第七小学校 (p.9)	
第八小学校 (p.10)	
第十小学校 (p.11)	
清明小学校 (p.12)	

統括コーディネーターの活動報告 (p.19)
学校支援本部たより等の紹介 (p.20～)



清瀬市学校支援本部 HP

令和5年5月発行

清瀬市教育委員会教育部生涯学習スポーツ課
TEL042-497-1815/FAX042-495-3940

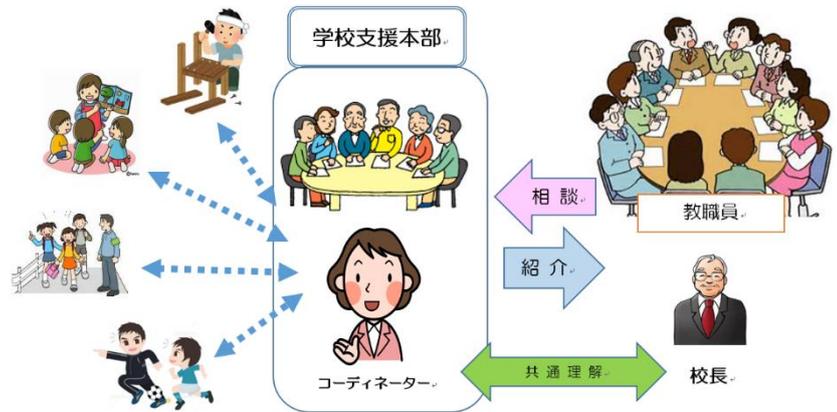
～地域の力を学校に～『清瀬市学校支援本部』

学校支援本部とは？

地域の人たちと一緒に、学校が必要とする教育活動などを支援するために設置された組織です。

“地域コーディネーター”が中心となり、体験授業の講師、授業補助、学校行事の運営支援・校内環境整備など各種活動に協力してくれるボランティアを発掘し、支援したい人と学校のニーズをマッチングさせ、様々な活動に取り組んでいます。

これまでも多くの地域住民・地域団体・保護者・学生の方々にご協力をいただきました。こうした活動は、全国の自治体で広まり、清瀬の小・中学校でも令和2年度から全校で設置しています。



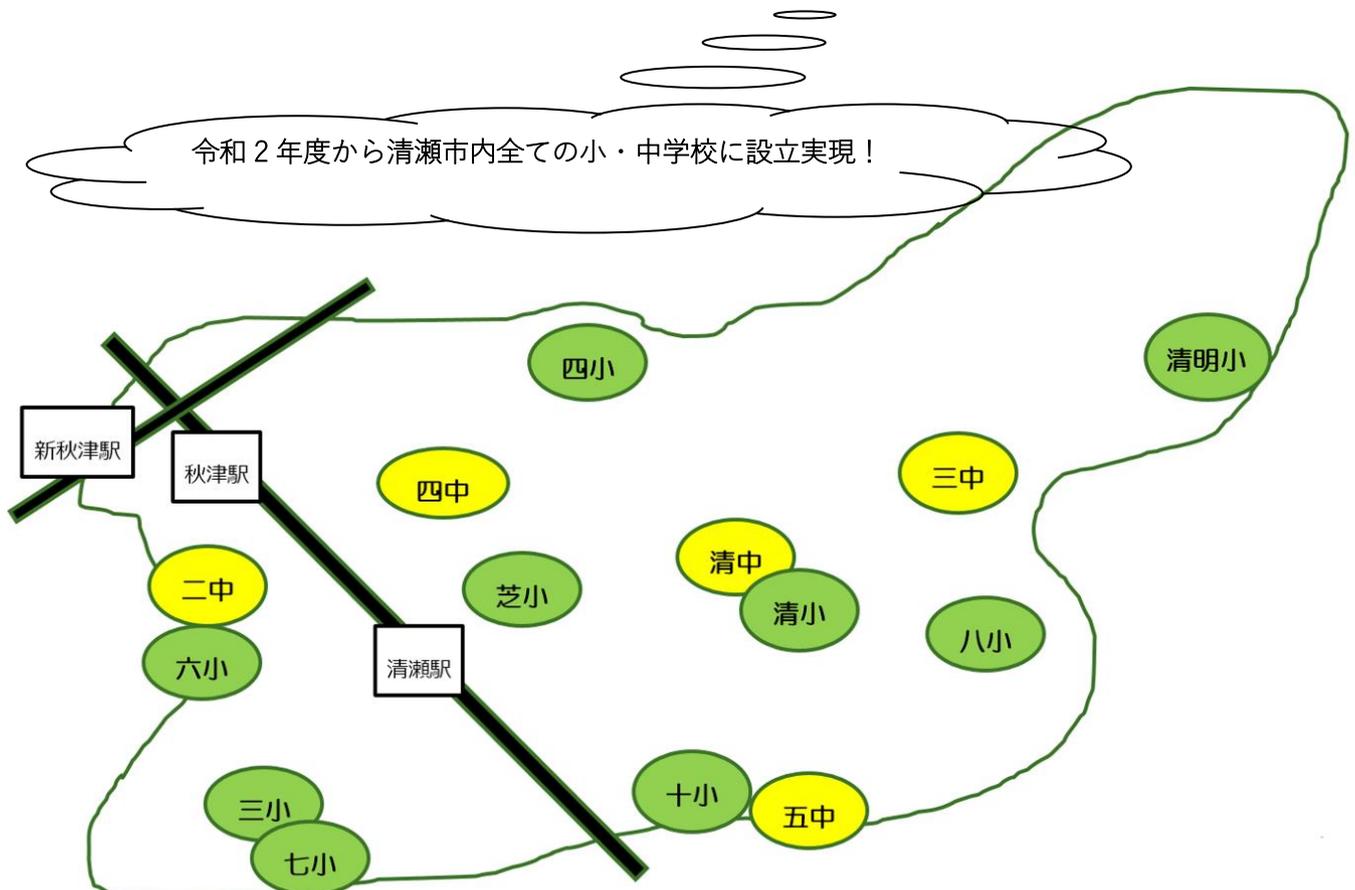
「第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン」との関わり

【基本構想】 基本理念：子供が育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育

5つの柱の1つ：地域の力で清瀬の教育をつなぎます（地域コミュニティ）

16の方向性の1つ：地域の力を学校に生かす仕組みづくりの推進

【実行計画】 方向性を具現化する施策：学校支援本部の設立及び活動の推進



学校支援本部設置状況一覧 (Co=コーディネーター) 令和5年3月1日現在

設置年度	学校	Co 氏名	備考	地域連携担当教員
	統括	齊藤 しのぶ	社会教育委員・民生・青少協等	
H29	清瀬小	池田 泉	清中 Co 兼務	富田 一人 主幹教諭
		諸川 幸子	清中 Co 兼務	
R1	芝山小	大津 里美	PTA	山本 睦世 主幹教諭
		山崎 優子	元 PTA	
		原 久美	SSS	
H27	三小	齊藤 しのぶ	元 PTA 会長、二中・三中・四中 Co 兼務	江連 聡 主任教諭
R1	四小	石垣 沙織	元 PTA 会長	横山 賢作 主幹教諭
H30	六小	大竹 政雄	六小プロジェクト X 代表	溝口 啓介 主幹教諭
		武田 千晴	元 PTA 会長	
R1	七小	木村 葉子	元七小の会役員	小林 雄太 主幹教諭
		淡路 真由美	元七小の会役員	
R1	八小	福島 崇子	八小の会代表	大久保 泰斗 主任教諭
R1	十小	石崎 勇仁	地域活動団体等	長田 陽佑 主幹教諭
		原田 亜由美	元保護者・青少協等	
R2	清明小	安松 一美	主任児童員・社協等	清水 智子 主任教諭
		山村 康一	保護者の会会長	
R1	清瀬中	池田 泉	PTA 会長、青少協	薄井 友宏 主幹教諭
		諸川 幸子	元 PTA 副会長・健全育成等	
H30	二中	齊藤 しのぶ	元 PTA 会長、三小・三中・四中 Co 兼務	霜田 誠 主幹教諭
		福本 麻紀	社協等	
R2	三中	齊藤 しのぶ	三小・二中・四中 Co 兼務	小室 歩 主任教諭
R1	四中	高山 邦子	主任児童員	福田 聡子 主任教諭
		齊藤 しのぶ	三小・二中・三中 Co 兼務	
H30	五中	森 実樹	元保護者の会代表	平賀 公章 主幹教諭
		青木 知子	元保護者の会副会長	
		本庄 佳緒里	元保護者の会代表	

小学校の活動報告

※作成者：各校のコーディネーター

清瀬市立清瀬小学校

本 部 名	清瀬小学校学校支援本部	活動開始年度	H29年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	27学級・691人
登録ボランティア数	9 人	令和4年度ボランティア数	延べ 50 人



登下校に関する対応	○	放課後・夜間における対応
地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応
日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助
給食時の対応	○	授業準備・補助 ○
学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助

学習支援	○	1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	2人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延 べ 50 人
体験活動（スポーツ）	○		人		2人		
体験活動（文化・芸術）	○		人		人		
体験活動（その他）	○		人		2人		
その他（※）			その他の内容		（※）		

【校内での会議等】

○学校運営連絡協議会（年2回） ○避難所運営連絡協議会 ○職員会議にて挨拶

【支援活動事例】

○教育環境の向上

- ・クラス補助員（シフト調整） ・朝学習ボランティア→毎週木・金（漢字・算数）
- ・水泳補助員（シフト調整） ・理科実験補助員

○講師招聘

- ・そろばん授業（3年生・4年生）→算数 ・出前授業（4年生）→総合

○学校行事補助

- ・新1年生入学説明会 受付・未就学児の安全補助

○広報

- ・学校のHPで活動報告や手紙掲載

○次年度に向けて

- ・サタデースクールの講師依頼

【効果や成果（教員からの声など）】

今年度より朝学習ボランティアが始まり、週に2回ボランティアの方に来ていただき、丸付けをしていただきました。先生方の仕事を軽減することができた。

特定の学年にはなってしまったが、そろばん授業や出前授業を行うことができた。

次年度は、コロナ禍で開催できなくなっていた土曜サタデースクールを開講することが決まった。改めて今まで開講していただいて講座の講師に依頼を行った。

今後も先生方と連携をとり新学期早々に話し合いの時間を確保し、全学年の児童の為にできることを増やしていきたい。

清瀬市立芝山小学校

本 部 名	芝山小学校学校支援本部	活動開始年度	平成31年度
コーディネーター数	3 人	学級数・延児童生徒数	12学級・339人
登録ボランティア数	30 人	令和4年度ボランティア数	延べ 30 人



学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整		児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	
	学校行事等の準備・運営		進路指導の補助	

学習支援		1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ フ の 平 均 人 数	人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延べ 30 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）	○		人		人		
体験活動（その他）	○		人		人		
その他（※）		その他の 内容	（※）				

<p>【校内での会議等】 令和4年度活動、漢字検定、校内環境美化について数回打ち合わせ 芝小保護者の会運営委員会、予算委員会開催</p>
<p>【支援活動事例】 3年生対象 カイコのタマゴ配布 漢字検定開催、ボランティア募集 校内環境美化活動を青少協第四地区委員会と共催</p>
<p>【効果や成果（教員からの声など）】 ボランティア参加保護者より久しぶりに校内で活動が出来て良かった。 他校保護者よりボランティアに参加することでいつもとは違う刺激があり楽しかったと伺いました。</p>

清瀬市立清瀬第三小学校

本 部 名	三小学校支援本部	活動開始年度	平成27年度
コーディネーター数	1人+協力員2人	学級数・延児童生徒数	11学級・247人
登録ボランティア数	30人	令和4年度ボランティア数	延べ 200人

学校における働き方改革を踏まえた活動	登下校に関する対応	○	放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り	○	部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	○
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	1回当たりの子供の平均人数	20人	1回当たりのスタッフの平均人数	6人	年間ボランティア数	延べ 200人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）	○		80人		50人		
その他（※）		その他の内容	（※）				

【校内での会議等】

学期に数回ずつ開催する事務局会
 学校・PTA・学校支援本部との情報共有
 学校運営連絡協議会への参加

【支援活動事例】

- 1 ようこそ先輩（キャリア教育） ⇒ 保育士、旅行業、飲食業、看護師、地域ボランティア活動、警察官
- 2 三小まつり ⇒ 学用品リサイクル販売の活動
- 3 サマースクール（自習教室） ⇒ 地域の方、学生がボランティア
 サマースクール（体験教室） ⇒ 和太鼓教室、動画作成教室、手芸教室、色えんぴつ画教室、まんが教室
- 4 自然観察教室 ⇒ 清瀬自然を守る会の方々の協力にて行った
- 5 各ボランティア活動の運営 ⇒ 花壇ボランティア、図書ボランティア、漢検ボランティア
- 6 出前授業の調整

【効果や成果（教員からの声など）】

コロナの状況を見ながらの活動でしたが、学校と情報を共有してできる事を行ってきました。
 地域連携教員とのやりとりが活発にでき、活動の幅が広がってきました。
 先生方からも、色々と相談させてくださいと前向きな言葉をもらい、来年度に向けて期待が持てる印象を受けました。

清瀬市立清瀬第四小学校

本 部 名	四小学校支援本部	活動開始年度	平成31年度
コーディネーター数	1 人	学級数・延児童生徒数	8学級・225人
登録ボランティア数	人	令和4年度ボランティア数	延べ 30 人

学校における働き方改革を踏まえた活動	登下校に関する対応	○	放課後・夜間における対応
	地域ボランティアとの連絡調整		児童生徒の休み時間における対応
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助
	給食時の対応		授業準備・補助
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助

学習支援		1 人		1 人		年間 ボランティア数 延べ 30 人
体験活動（スポーツ）		人		人		
体験活動（文化・芸術）		人		人		
体験活動（その他）		人		人		
その他（※）	その他の内容	（※）				

【校内での会議等】

- ・ 長沼校長先生着任にて挨拶と今年度の活動擦り合わせ
- ・ 新1年生下校時方面別編制（学校・青少協と連携）
- ・ 職員会議にて挨拶、四小の紹介、支援本部の紹介
- ・ 1学期保護者会にて各学級へ挨拶
- ・ 卒業アルバム業者に関する打ち合わせ
- ・ 展覧会受付募集について打ち合わせ
- ・ 入学説明会について打ち合わせ
- ・ 3学期全体オンライン保護者会にて挨拶（今年度のお礼と来年度への協力お願い）
- ・ 令和5年度漢字検定についての打ち合わせ

【支援活動事例】

- ・ 新しく四小に着任された教員への四小の紹介
- ・ 四小保護者の会会費集金のため児童数（きょうだい関係）確認
- ・ 卒業アルバム業者選定に向けて見積依頼、アンケート実施
- ・ 草取り集会へのヘルピングハンズ募集
- ・ 展覧会受付ヘルピングハンズ募集と当日運営
- ・ 入学説明会にてマチコミメール登録案内と登校班編制の説明
- ・ 学習サポーター年度途中で退職につき、後任探し
- ・ 四小 SSS 年度末での退職につき、後任探し
- ・ 四小保護者の会活動サポート
- ・ 令和4年度卒業対策委員会へのサポート
- ・ 令和5年度卒業対策委員選出の段取り
- ・ 令和5年度登校班編制作業

【効果や成果（教員からの声など）】

- ・ SSS や学習サポーターの人材紹介がとても助かった。（学校）
- ・ 四小保護者の会の運営サポートがとても助かった。

清瀬市立清瀬第六小学校

本 部 名	六小プロジェクトX	活動開始年度	平成30年度
コーディネーター数	2人	学級数・延児童生徒数	12学級・399人
登録ボランティア数	30人	令和4年度ボランティア数	延べ 100人



大人バンドライブ in 六小 CS 発表会

学校における働き方改革を踏まえた活動	登下校に関する対応	○	放課後・夜間における対応
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助
	給食時の対応		授業準備・補助
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助

学習支援		1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ フ の 平 均 人 数	人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延 べ 60 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）	○		35人		5人		
体験活動（その他）	○		66人		40人		
その他（※）	○		その他の内容		（※）防災訓練（避難所体験）		

【校内での会議等】

CS 会合（学校運営協議会） 計5回 5月21日、9月3日、10月15日、2月18日、3月4日
 その他 個別の案件については個々に対応した
 学校支援本部（協議・情報共有） 随時（メールなどのツールも通信手段として用いている。）

【支援活動事例】

- 支援活動 ・教育環境の向上 12月 花壇整備（花壇ボランティア）
 ・登下校の見守り PTA 主導（ふれあい週間、引き取り訓練など）
 ・修繕等 跳び箱用台車製作 プール講習時のプールサイド日除け設営 他
- 講演講座 ・9月3日「コミュニティ・スクールについて～保護者や地域の方々の役割と取組」
 講師 学校運営協議会スーパーバイザー 東京学芸大学教職員大学院准教授 浅野あい子 先生
 ・2月18日「お互いを認め合う心を育てる 一家庭、地域と学校で進める心の教育」
 講師 帝京大学教育学部初等教育学科 赤堀博行 先生
 ・10月15日 土曜講座 大人バンド①(本校教諭 大日向稔先生) Chromebook お試し講座(本校教諭 篠崎佳希先生)
 算数授業「体験できマス」(本校教諭 野田幸宏先生)
 ざらりってどんどころ??～ざらりでの指導全部お見せしちゃいます!～(本校教諭 平野滉也先生)
 ・2月18日 土曜講座 絵手紙講座(地域講師 清水かね子先生) 「多文化共生」ってなあに?(地域講師 林清先生)
 不登校の「親の会」(地域講師 黒田一美先生) ドライポイント版画体験講座(本校教諭 白岩元子先生)
 理科好きの子を育てる 化学実験教室(本校教諭 相原麻菜美先生) 大人バンド②(本校教諭 大日向稔先生)
 ・3月4日 CS 発表会 展示作品 絵手 大人バンドミニライブ
- イベント他 ・7月23日 防災訓練（共催：六小・二中合同避難所運営協議会、六小地区自治会連合会）
 ・10月8日～9日 サバイバルキャンプ（擬似避難所宿泊体験会）

【効果や成果（教員からの声など）】

本年度は運動会、学芸会などの学校主催イベントに協力することが出来た。特に、学芸会では歌唱指導、衣装制作、舞台設営や操作などで地域の有識者、保護者、住民の協力をいただき盛んに出てきたことに感謝します。

初年度となったコミュニティスクールは十分な活動までは出来ず、今後の課題が少しずつ見えてきた1年となりました。CS となつた六小はまだ地域交流の場としての活用が出来ていない。次年度はコミュニティとして交流（活用）を進めたい。

清瀬第七小学校

本 部 名	ななサポ	活動開始年度	平成31年度
コーディネーター数	2人	学級数・延児童生徒数	16学級・299人
登録ボランティア数		令和4年度ボランティア数	延べ 200人



学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	○
	学校行事等の準備・運営		進路指導の補助	

ラストサマースクール

松山DX祭児童スタッフ

学習支援	○	1回当たりの子供の 平均人数	23人	1回当たりのスタッフの 平均人数	5人	年間ボランティア数 延べ 200人
体験活動（スポーツ）			人		人	
体験活動（文化・芸術）			人		人	
体験活動（その他）			人		5人	
その他（※）	○	その他の内容	（※）松山DX祭り 保護者・卒業生35名 児童スタッフ30名			

【校内での会議等】

- 学校運営連絡協議会 ○避難所運営連絡協議会 ○松山DX（地域づくりの会）
- 七小の会(保護者の会)運営委員会 ○4月当初に教職員への挨拶 ○新入生説明会でななサポについて説明

【支援活動事例】

- 読み聞かせ
- 行事支援（運動会受付・運動会テント撤収・授業公開受付）
- 図書ボランティア（図書室の季節ごとの飾りつけ、図書整理）
- 松山DX祭り（地域づくりの会主催）
ステージ活動・ジュース販売・ブース支援（ピザ、クレープ、パン焼き、高齢者体験）・児童スタッフの募集
- 漢字検定受付、試験監督
- 低学年保護者会時、児童の見守り
- 授業サポート（3、4年生自転車教室・木工授業サポート・ミシン授業サポート・まちあるきサポート）
- ラストサマースクール（夏休み図書室解放支援）

【効果や成果（教員からの声など）】

千田副校長先生より：ななサポの存在自体が、安心感に繋がっている。人数が集まらない場合には、別のルートで調整していただける。

活動内容によっては、特定のボランティアが毎回活動しているので、サポートが改善されている。基本的に希望者が参加するので、意欲的に活動していただいている。

卒業生のボランティアが参加するようになったのも、ななサポならではの実感している。

ななサポより：今年度は特に地域の方・保護者OBのボランティアや卒業生ボランティアの募集に力を入れ、地域と学校のつながりを強めることができ、卒業生に地域に愛着をもってもらうという目標も達成できた。また祭りでは七小児童のスタッフを募集し、来年の祭りに向けて意欲的な声をたくさん聞くことができた。

学校名 清瀬第八小学校

本部名	SN8	活動開始年度	平成31年度
コーディネーター数	1人	学級数・延児童生徒数	15学級・385人
登録ボランティア数	3人	令和4年度ボランティア数	延べ 30人

学校における働き方改革を踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応
	地域ボランティアとの連絡調整		児童生徒の休み時間における対応
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助
	給食時の対応		授業準備・補助
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助

学習支援		平均人数 1回当たりの子供の	人	平均人数 1回当たりのスタッフの	人	年間ボランティア数	延べ 30人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）			人		人		
その他（※）	○	その他の内容	（※）芝生の管理維持作業、読み聞かせ、図書ボランティア 学校行事の手伝い				

【校内での会議等】

6月7日 支援本部顔合わせ
 7月2日 学校運営連絡協議会参加
 7月 校長・副校長支援内容打ち合わせ
 10月 芝生まつり→コロナ感染症拡大のため中止
 10月29日運動会受付手伝い・支援内容打ち合わせ
 11月 芝生の管理作業（青少年問題協議会と一緒に）
 2月18日 学校運営連絡協議会参加

【支援活動事例】

学校と協議し、出来る支援を行った。
 運動会における受付手伝いは、係となる保護者の負担を減らすことや、保護者との交流を深め、学校の現状を理解し、支援を深めていくことを目的とした。
 芝生まつりは、コロナ感染症拡大の影響を考慮し、中止。次年度は内容を検討して開催する方向である。
 保護者の会と連絡を取りながら、学校の様子を理解し、学校運営連絡協議会に参加した。
 ※無理なくを基本に支援活動を行っています。コロナ感染症対策の中、出来ること、無理のない範囲で活動をしてきました。関わっている関係者が、保護者の会、青少年問題協議会の委員なので、学校支援本部だけの活動ではなく、広がった活動が出来ていると思います。

【効果や成果（教員からの声など）】

清瀬市立清瀬第十小学校

本 部 名	清瀬第十小学校支援本部	活動開始年度	平成31年度
コーディネーター数	2人	学級数・延児童生徒数	18学級・587人
登録ボランティア数	都度募集	令和4年度ボランティア数	延べ 175人



↑ 蚕学習の様子

落ち葉清掃↓



学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	
	学校行事等の準備・運営		進路指導の補助	

学習支援		1回当たりの子供の 平均人数	人	1回当たりのスタッフの 平均人数	人	年間 ボラン ティア 数	延べ 175人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）	○		85人		5人		
その他（※）	○	その他の 内容	（※）“十小 畑”開墾指導 と令和5年度作付け計画の立案補助				

【校内での会議等】

- 十小保護者会での地域支援本部の紹介(4月) → 保護者を対象にご挨拶と本年度の事業の紹介
- 学校支援本部連絡会(4・3月) → コーディネーターと事務局とで今後の方針のすり合わせや情報交換を行った
- 学校運営連絡協議会に参加(7・11・2月)
- 校長先生と情報交換・将来の目標等話し合い(不定期)

【支援活動事例】

- 教育環境の向上
 - ・落ち葉清掃 → 保護者、地域ボランティア
 - ・図書ボランティア募集 → 保護者、地域ボランティア
 - ・“十小畑”開墾 → 地域ボランティア
- 講師招聘
 - ・三年生蚕学習 → 蚕学習ボランティアピュアシルク（謝礼 20,000円）
 - ・“十小 畑”開墾指導 と令和5年度作付け計画の立案補助 → 岩田農園（謝礼 10,000円）

【効果や成果（教員からの声など）】

- 五中支援本部との連携を深め、より一層地域からのボランティア参加を募っていききたい
- 学校支援本部の取り組みを地域住民でもある保護者に理解を得るように努力したい
- 教員・学校スタッフに顔を覚えてもらってきたと感じる。ただし、まだ児童には顔を覚えて貰っていないので、学習支援/登下校の安全見守りなどに参加して児童からの認知度を上げていきたい
- 学校のニーズがなかなか掴めていないので、教員と話す時間を増やしていきたい
- 広く周りに認知され易いように十小 学校支援本部としての簡単なユニフォームのようなものを作りたい。デザインを児童にお願い出来たらと考えている
- 実績を増やす → 地域/保護者にアピールする → ボランティア人数を増やす → 人資源を把握する → 学校の様々なニーズに対応する。という流れを作っていきたい
- 次年度はまたボランティア募集/管理を行いたい

清瀬市立清明小学校

本 部 名	清明小学校支援本部	活動開始年度	令和 2 年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	13 学級・425 人
登録ボランティア数	40 人	令和4年度ボランティア数	延べ 315 人



学校における働き方改革を踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	○
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	平均人数 1 回当たりの子供の	70 人	平均人数 1 回当たりのスタッフの	3 人	年間ボランティア数 延べ 315 人
体験活動（スポーツ）			人		人	
体験活動（文化・芸術）	○		70 人		10 人	
体験活動（その他）	○		70 人		15 人	
その他（※）	○		その他の内容		（※）	

【校内での会議等】

本部運営委員会(2 ヶ月に 1 回程度・不定期)

清雅包括×hitonowa×学校支援本部 活動の場作りミーティング(3 ヶ月に 1 回)

【支援活動事例】

- パワーアップタイム(算数補修学習)丸付け補助 ○農園アドバイザー ○家庭科授業補助
- サタデースクール(健康けん玉、アクリルたわし作り、ぶんぶんゴマ作り) ○20 周年記念祭での出店
- 図書室環境整備 ○1・2 年生昔遊び体験 ○6 年生薬物乱用防止教室講師 ○6 年生 LGBTQ 学習会講師
- 4・5・6 年生柳瀬川体験学習 ○学生による居場所づくり(社会事業大学・大正大学) ○1・2 年生草花遊び体験
- ひまわり種まき ○花壇作成 ○読書旬間中の読み聞かせ
- 3・4 年生 書写ゲストティーチャー ○ヤギ飼育

【効果や成果（教員からの声など）】

家庭科授業補助では、教員に加えて数人のボランティアが入ることで子どもたちの待ち時間が減り、非常にスムーズに進めることができた。

図書室が季節やイベントに合わせて飾られ、入りやすい図書室に生まれ変わってきている。

1・2 年の昔遊び体験もボランティアが入ることで、多くのコーナーを作ることが出来て有意義な活動となった。

教員だけでは人数の問題で活用できなかった柳瀬川も、企業やボランティアが入ることで活かせるようになり、学習の選択肢が広がってきている。

人手が足りずに諦めていたことも徐々に取り組めるようになり、より質の高い授業ができるようになった。

地域とのつながりが増えてきている。地域は高齢者と子どもたちのつながりを持てる場を探しているがなかなか見つからない。学校支援本部が少しずつ認知されて声をかけてもらえるようになってきた。

他地域のデイサービスでも同じように活躍できる場所を探していると思うので、学校支援本部で情報を共有していきたい。

中学校の活動報告

※作成：各校のコーディネーター

清瀬市立清瀬中学校

本 部 名	清瀬中学校学校支援本部	活動開始年度	平成 3 1 年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	1 7 学級・3 7 9 人
登録ボランティア数	7 人	令和 4 年度ボランティア数	延べ 3 0 人



登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
日々の校内清掃への参加・見守り	○	部活動の補助	
給食時の対応		授業準備・補助	○
学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	5 0 人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	3 0 人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延べ 3 0 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）	○		3 5 0 人		2 人		
体験活動（その他）	○		3 5 0 人		2 人		
その他（※）	○	その他の内容	（※） SNS 講座				

【校内での会議等】

○評議員会（年 4 回） ○学校運営連絡協議会（年 2 回） ○避難所運営連絡協議会 ○4 月職員会議にて挨拶

【支援活動事例】

- 教育環境の向上
 - ・ 図書館の整備（PTA と協力しカーテンを購入、グリーンを寄付し装飾）
 - ・ SDGs（花の学び舎プロジェクト）→地域の方より球根の植え付け指導
- 講師招聘
 - ・ 道徳地区公開講座（弁護士）
 - ・ 音楽祭の合唱指導・審査員
- 学校行事補助
 - ・ 入学式、卒業式、音楽祭、運動会の受付等
 - ・ 音楽祭の DVD 販売（集計、注文）
 - ・ SNS 講座
- 検定運営
 - ・ 漢字検定（年 2 回）、英語検定（年 3 回）
 - 集金、ボランティアの募集、当日の準備・運営（試験監督へ説明等）
- 広報
 - ・ 学校の HP で活動報告や手紙掲載

【効果や成果（教員からの声など）】

年間通して、図書館の整備を行った。本を読むだけではなく、子供たちが落ち着いて過ごせる空間作りをコンセプトに、グリーンを置き、カーテンも新しくした。昨年に引き続き、学校行事の補助や検定も行うことができた。次年度は、コロナ禍で制限されてきた活動もできるようになると思うので、教職員と話をしながら活動していきたい。また、清瀬小学校と隣にあるという地形を生かした活動ができるように声かけをしていく。

清瀬市立清瀬第二中学校

本 部 名	二中学校支援本部	活動開始年度	平成30年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	14学級・484人
登録ボランティア数	20人	令和4年度ボランティア数	延べ 250 人

学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り	○	部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	○
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援		平均人数 1 回当たりの子供の	人	平均人数 1 回当たりのスタッフの	人	年間 ボラン ティア 数	延べ 250 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）	○		人		10人		
その他（※）	○	その他の 内容	（※）漢検、英検、花壇ボランティア、行事手伝い、各活動講師さがし				

【校内での会議等】

- 1 都度学校担当者と打ち合わせ 2 二中保護者会と打ち合わせ 3 学校運営連絡協議会への参加

【支援活動事例】

- ワンデーサポート活動（取りまとめ、運営サポート） ⇒ 運動会、合唱コンクール、マラソン大会
- 制服リサイクル活動、ベルマーク収集活動
- 漢検・英検の集金、当日の検定監督（ボランティア取りまとめ）
- 花壇ボランティア
- 保護者の会へのサポート活動
- 特色がある活動（2年生の清瀬を語れる生徒） ⇒ 各講師さがし

【効果や成果（教員からの声など）】

支援本部に聞いてみよう、という流れができていますので、先生方とコーディネーターとの関係がとても良いと思います。
この流れを継続できるよう、努力していきたいです。

清瀬市立清瀬第三中学校

本 部 名	三中学校支援本部	活動開始年度	令和2年度
コーディネーター数	1 人	学級数・延児童生徒数	9学級・310人
登録ボランティア数	人	令和4年度ボランティア数	延べ 250 人

登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
地域ボランティアとの連絡調整		児童生徒の休み時間における対応	
日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	○
給食時の対応		授業準備・補助	
学校行事等の準備・運営		進路指導の補助	

学習支援		1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延べ約 2人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）	○		人		人		
その他（※）		その他の内容	（※）				

【校内での会議等】

【支援活動事例】

- 栽培部顧問より、ブドウ棚の栽培について農家の方を紹介して欲しいと依頼
⇒市役所産業振興課に相談し、紹介していただいた。
- ステップルーム対応の学生ボランティアさがし
⇒十文字女子学園ボランティアセンターにつないだ。
- 来年度の職場体験先の開拓について

【効果や成果（教員からの声など）】

思ったような支援活動となっていないので、来年度からは改善が必要だと考えています。
先生方と良い関係がつかれるようにコーディネーターとして何をすべきか、管理職とも話し合い活動をしていきたいと思っています。

清瀬市立清瀬第四中学校

本 部 名	四中学校支援本部	活動開始年度	平成31年度
コーディネーター数	2 人	学級数・延児童生徒数	9学級・297人
登録ボランティア数	0 人	令和4年度ボランティア数	延べ 50 人

学校における働き方改革を 踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整	○	児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	○
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援		1 回 当 た り の 子 供 の 平 均 人 数	人	1 回 当 た り の ス タ フ の 平 均 人 数	人	年 間 ボ ラ ン テ ィ ア 数	延 べ 50 人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）	○		50人		6人		
その他（※）	○		その他の内容		（※）運動会運営お手伝い、保健講話、職業講話、制服リサイクル		

<p>【校内での会議等】 学校運営連絡協議会への参加 保護者会役員会への参加</p>
<p>【支援活動事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職業講話講師さがし 2 保健講話 3 生徒会活動（エコキャップ運動） ⇒ ペットボトルキャップの引き取り業者さがし 4 総合の時間 ⇒ 清瀬の伝統行事をお話しできる方を紹介 5 職場体験先の開拓 6 制服リサイクル活動 7 保護者会活動への助言
<p>【効果や成果（教員からの声など）】 支援本部活動への理解が進み、様々な依頼を受けるようになってきました。 地域への広報を広めて、協力者を得られるようにすることが、来年度の課題になると思います。</p>

清瀬市立清瀬第五中学校

本 部 名	五中学校支援本部	活動開始年度	平成30年度
コーディネーター数	3人	学級数・延児童生徒数	9学級・288人
登録ボランティア数	0人	令和4年度ボランティア数	延べ 27人



↓ 学習支援教室



↑ 地域交流

学校における働き方改革を踏まえた活動	登下校に関する対応		放課後・夜間における対応	
	地域ボランティアとの連絡調整		児童生徒の休み時間における対応	
	日々の校内清掃への参加・見守り		部活動の補助	
	給食時の対応		授業準備・補助	
	学校行事等の準備・運営	○	進路指導の補助	

学習支援	○	1回当たりの子供の平均人数	7人	1回当たりのスタッフの平均人数	1人	年間ボランティア数	延べ 27人
体験活動（スポーツ）			人		人		
体験活動（文化・芸術）			人		人		
体験活動（その他）			人		人		
その他（※）		その他の内容	（※）				

【校内での会議等】

- 新入生保護者説明会、保護者代表者会などに参加し、学校支援本部の紹介を行った
- 支援活動について校長先生からの依頼を受け、関係する先生方と打合せ（随時）

【支援活動事例】

- 教育環境の向上並びに地域交流
 - 中庭花壇の整備を生徒と保護者、地域の方々で行った。
- 講師招聘
 - ・ 全学年道徳授業「世界の子供たちを取り巻く問題について」 → 日本ユニセフ協会
 - ・ 2学年国際理解教育 → JICA 国際協力出前授業（謝礼 10,000円）
- 学習支援
 - ・ 3学年対象の放課後学習支援教室 → 講師 大学院生（謝礼 20,000円）
- 学校支援
 - ・ 行事のオンライン配信(入学式、卒業式)

【効果や成果（教員からの声など）】

- 第3学年対象の学習支援教室は参加した生徒には好評で、学習意欲の向上や意識改革に繋がったと感じます。
- 先生方との連携もスムーズに行えるようになりました。

統括コーディネーターの活動報告

【支援活動事例】

- 1 学校支援本部運営委員会
- 2 学校支援本部幹事会（その都度に応じて）
- 3 コーディネーター研修会、情報交換会 ⇒ 兵頭教育委員に講師を依頼
- 4 多摩六都科学館へ視察
- 5 郷土カルタ大会を企画 ⇒ 今後の開催を構築
- 6 中学校担当コーディネーターで職場体験開拓の活動を共有し出来ることはないか、来年度に向けて情報交換ができた

【効果や成果（教員からの声など）】

清瀬市内のコーディネーターが何か1つの活動を通し、士気を上げることができればと、郷土カルタ大会を企画して、話し合いを重ねていきました。話し合いの進め方、情報の共有不足、なぜこの企画を行うのか、様々な疑問もあがり、一旦立ち止まってみようと結論が出ました。

現在力を入れる所はそれぞれの学校支援、あるいは小学校別や中学校別での活動を活発にしていくことだと思いました。

コーディネーターとして何をすべきか自ら考え、研修や情報交換会を有意義な場となるように勉強を重ねていきたいと思います。

令和5年2月27日
清瀬小学校学校支援本部
池田 泉
諸川 幸子

《4年生 出前授業》

2月24日（金）、「未来の自分について考えよう」というテーマで出前授業を行いました。今回は、清瀬市市民環境部産業振興課産業関係から山下様と田中様のお二人をお招きいたしました。清瀬市の農業、商工について学びました。1時間という短い時間でしたが、とても貴重な学びの時間となりました。



令和5年2月14日

新入生の保護者の皆様

清瀬第四小学校学校支援本部
コーディネーター 石垣 沙織

《ご案内》四小学校支援本部及び保護者の会 携帯メール連絡網への登録

現在、清瀬第四小学校では連絡網として、全世帯が「市内一斉配信メール（学校）」と「マチコミメール」（学校支援本部及び四小保護者の会）の両方にご登録いただき、利用しております。電話連絡網よりも早く正確に伝わるうえ、次の人に連絡する手間もかかりません。外出先からでも情報を得ることができますので、新入生の保護者の皆様におかれましても、裏面を参照の上、マチコミメールにご登録ください。

なお、できるだけ2月中に登録作業をしていただき、うまくいかない場合は、学校支援本部までメールにてお問い合わせください。3月末から4月頃には、入学式等に関するお知らせをテストメールとして送信する予定です。ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【登録する必要がある方】

- ・四小に通学するすべてのお子様
- ※学年ごとの登録となります。上にごきょうだいいらっしゃる場合でも、新入生のお子様用に登録していただく必要があります。
- ※各ご家庭、複数の保護者の方にご登録いただけますと安心です。

【配信内容について】

- ・学校から依頼を受けた場合の緊急または重要なお知らせ
- ・学校支援本部及び四小保護者の会に関わるお知らせ及び各行事等のお知らせ
- ・学校支援本部及び四小保護者の会の活動に関わる各学年、学級による連絡 など

【料金について】

- ・「マチコミ」自体の利用料金は無料です。
- ・ドリームエア株式会社が発行するメール一斉配信システムです。無料で利用するにあたり、最大週1回、広告や宣伝を含むリサーチメール（電子メール）が届きます。リサーチメールのみの配信を停止することはできません。ご了承ください。ただし、リサーチメールへの回答は強制されるものではありません。

【マチコミメールについて】詳細はホームページ参照 <http://mail.machicomi.jp/index.html>

- ・ドリームエア株式会社が発行するメール一斉配信システムです。無料で利用するにあたり、最大週1回、広告や宣伝を含むリサーチメール（電子メール）が届きます。リサーチメールのみの配信を停止することはできません。ご了承ください。ただし、リサーチメールへの回答は強制されるものではありません。
- ・登録者（保護者）のメールアドレスやその他情報は、各自が空メールを送って登録するもので、学校支援本部及び四小保護者の会が知ることは一切ありません。

【問い合わせ先】四小学校支援本部 shien.kiyose4pri@gmail.com

◇六小土曜講座のご案内◇

2月18日（土）六小土曜講座 開催！

日 時	内 容	講師	会場	申込期間
2月18日（土） 13:30～15:00	絵手紙講座	清瀬絵手紙連盟代表 清水 かね子 先生	家庭科室	2/10まで
2月18日（土） 15:30～14:30	「多文化共生」ってなあに？	清瀬国際交流会日本語 教室も多文化共生 林 清 先生	会議室	2/17まで
2月18日（土） 13:30～15:00	不登校の「親の会」	NPO法人ワズアイ 黒田 一美 氏 (進行)	きらり 教室	2/17まで
2月18日（土） 13:30～14:30	六小大人バンド②	清瀬第六小学校 大石方 穂 先生	音楽室	2/17まで
2月18日（土） 13:30～14:30	理科好きの子を育てる 科学実験教室	清瀬第六小学校 柏原 麻菜美 先生	理科室	2/10まで
2月18日（土） 13:30～15:30	ドライポイント版画体験講座	清瀬第六小学校 白岩 元子 先生	図工室	2/10まで

※詳細はホームページをご覧ください。お申込みは下記 QR コードよりお申込できます。



DIY 作業、ご協力いただける方大募集！！
今回は図工室の作業台（テーブル）の修繕を行います。
図工室の作業台はこれまでは沢山の児童の知恵に活躍してきました。
シミや凹みが目立ってきたこともあり作業台のリニューアル（再生）を計画しています。

作業内容は、上面（作業面）の削りまたは磨きを行い、ニスなどの塗装を施す予定です。
作業台は全9台。工具などの用意はあります。
作業日は土曜日9時30分～12時
(但し、祝日および授業公開日を除く)。
学校支援本部HPカレンダーに掲載します。
よろしくお願致します！！



元祖プロジェクトX

六小土曜講座のお申込み
QRコードは
こちら⇒



【問合せ先】
清瀬第六小学校 副校長 川島 吾人
地域連携担当 溝口 啓介 電話 042-493-4316
学校支援本部コーディネーター 大竹 政雄
武田 千晴 E-mail kyo6gshien@gmail.com
ホームページ <https://kyo6-projects.mdsfres.com/>

ななせ祭

ほごう
児童のみなさん保護者の方にお楽しみください

令和4年12月15日
地域コーディネーター
淡路貴由美・木村葉子



パン焼きの様子

いかがでしたか？
松山DX祭の
松山DX（地域づくりの会）
主催のお祭りでは
保護者ボランティア15名
児童OBボランティア6名
地域の大学生ボランティア9名
にブース活動を支えていただきました。



七小の会 ジュース



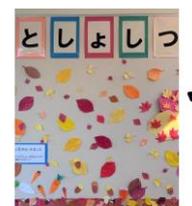
高齢者・車いす体験

お祭りでは4～6年生の
キッズスタッフ30名も
大かつやく！
そのほか2学期には
読み聞かせ
木工サポート
町たんけん
漢字検定
などボランティアの
ご協力をいただきました。



ポッチャ

3学期は
授業サポート
漢字検定など
募集予定です



図書ボランティア
2学期もありがとうございます！
12.23(金)
10:00～
3学期は
2.1(水)
3.8(水)
10:30～です

2学期もありがとうございました
3学期もよろしくお願致します！

《図書館リニューアル》

この度、図書館の改装を行いました。図書館の改装にあたり、PTAの皆様にご協力いただきまして、カーテンを共同購入することができました。また、支援本部より緑の装飾は寄付させていただきました。

図書館は本を読むだけでなく、放課後の学習スペースや子供たちがくつろげる空間になればと思っております。

是非、保護者の皆様も図書館にお越しください。



学校支援本部だより

日ごとに寒気加わる季節となりました。先月開催された合唱コンクールに続き、今月に入ってから、1年生の川越校外学習、2年生の秩父移動教室や車椅子バスケットボールなど、コロナ禍で中止されていた行事が軌り行われ、学校生活は少しずつ、以前の様子を取り戻してきているように思えます。

コロナ禍において、開催している講座も少ない中、恒例となりました学校支援本部主催の道徳授業公開講座、5回目は、2019年に続きまして2回目となる、(公財)日本ユニセフ協会より講師をお招きし、本年度も無事に開催することができました。コロナ感染症対策として、体育館で対面で開催するのは3年生のみとし、1、2年生は教室でオンライン観覧で受講しました。

今回、講演を行ってくださったのは、大学生ボランティアたちが企画・運営する「umioof Campus」に所属する、横山果南さん。東大医学部に進学現役大学生です。彼女は、文系で進学し、大学入学後に理系へ変更するという経験を持っており、講演に先立ち、理系へ変更するに至った経緯や、進路選択時の思いについてもお話しくださいました。生徒と年齢も近く、彼女の経験や考えなどは、きっと共感しやすかったことでしょう。特に3年生は、進路について今まさに岐路に立たされている状況です。自分の進路や目標を考える上でも、とても参考になったのではないのでしょうか。

講演では、世界の子供たちを取り巻く、紛争、感染症、気候変動がもたらす様々な問題をテーマに、家計を支えるために学校に行かず働く子供たち、毎日何時間もかけて川の水を汲みに行く少女の話など、子供たちの現状、病気になるまでにかかるといけない、安全な水がないために長く生きることができない、世界中の沢山の小さな命のために、ユニセフが行っている支援について、SDGs(持続可能な開発目標)が掲げる「だれひとり、取り残さない」世界をつかっていくために必要なことは何か?ということも、映像を交えてお話しいただきました。

講演後の振り返り学習では、学んだことや感じたことをまとめました。ポスターにある、「すべての子どもに[]を。」の[]にどんな言葉を入れたのでしょうか?「平和」、「愛」、「食糧」などが思い付きやすいですが、生徒が書いた物の中から、いくつかご紹介しましょう。

- ・すべての子どもに「安全と平和」を。
- ・すべての子どもに「笑顔」を。
- ・すべての子どもに「自由な権利」を。
- ・すべての子どもに「安心安全」を。
- ・すべての子どもに「スタート」を。
- ・すべての子どもに「敬愛」を。
- ・すべての子どもに「健康な生活」を。
- ・すべての子どもに「未来」を。

皆さんだったら何と入れますか?ぜひ生徒と一緒に考えてみてください。

ユニセフと世界の子供たち 持続可能な世界をめざして

